

## TTKグループ10年目の3.11

株式会社TTK(本社：仙台市若林区新寺1-2-23、代表取締役社長：五十嵐克彦、以下、当社)は、東日本大震災発生から10年となる2021年3月11日にグループ全体で防災意識の向上及びBCPを意識した取り組みを実施しました。

- ①震災で犠牲となられた方々への哀悼：黙禱
- ②防災意識の醸成：全社員を対象としたシェイクアウト訓練及び安否確認訓練
- ③コロナ下を意識した通信建設会社としてのBCP意識の醸成：各ロケ衛星携帯電話による発/着訓練及び災害対策本部員の遠隔参集訓練

10年前当社は、震災直後よりグループ・協力会社全カ一丸となり、がれきの中、余震の惧れがある中、電気も来ていない状況で、昼夜を問わず通信インフラ・ライフライン復旧のため総力を挙げて活動をしてまいりました。

また、震災後は地震に強い新しい街づくりを通じ、通信設備の強靱化や道路の建設に伴う工事を通して東北復興の支援を実施して参りました。

私達は3.11を忘れず、これまでもこれからも地域社会に貢献できるよう活動して参ります。

### ①黙禱の実施

震災で犠牲となられた方々への追悼の意を表し黙禱を実施



### ②グループ全体でのシェイクアウト訓練及び安否確認訓練の実施

地震発生時の基本動作  
**「まず低く、頭を守り、動かない」**  
 を各ロケ様々な状況で実施



### ③各ロケ衛星携帯電話による発/着訓練及び本部員の遠隔参集訓練

通信途絶時の各ロケとの衛星携帯による通信確保  
 通信回復後のコロナ状況下を加味した災害対策本部員による遠隔参集訓練（リモート参集）を実施



衛星携帯電話による各ロケ通信確保



通信環境復旧後のWeb会議での災害対策本部員遠隔参集訓練



# 私達はこれまでも、これからも地域に寄り添い社会に貢献して参ります



## 電柱工程



## 地下ケーブル工程



## 架空ケーブル工程

震災後も私達は、地震に強い新しい街づくりを通じ通信設備の強靱化や道路の建設に伴う工事を通して東北復興のため寄り添ってまいりました。これからも引き続き東北復興のため活動して参ります

## マンホール工程

